

風に当たりながら入浴



三野町の紅葉温泉に、以前から要望が多かった露天風呂が完成し、12月22日から入浴できるようになりました。この日は営業開始時間から早速入浴に訪れるお客さんが多く、風に当たりながらの入浴はとても気持ちがいいと、皆さんとても喜んでいました。

また、昨年に引き続き井川スキー場腕山のリフト券を見せると入浴料が安くなるサービスが今年も行われており、冷え切った身体を温めに来るスキーヤーが増えているそうです。

今日はみんなでご馳走です



池田町上野地区社協主催のふれあい会食が12月12日に上野地区公民館で行われ、地区の一人暮らしのお年寄り22人に手作りの料理が振舞われました。平成5年から実施されている会食は「バランスの取れた料理を食べてもらいたい」とヘルスマイト等で学ばれた地区のボランティアの方などが、腕によりをかけた調理を行っています。

会食の後には、全員が介護予防体操で体を動かしたり、非常持ち出し袋がプレゼントされました。

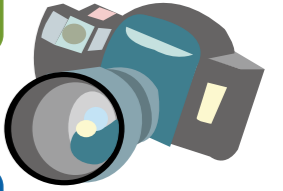
地域医療を考えよう



12月7日、池田総合体育館で地域医療を考えるシンポジウムが開催されました。近年県西部での医師不足の話題がつきませんが、公立病院の在り方などについて約300人の参加者が真剣に耳を傾けました。

県病院事業管理者の基調講演では「医療提供者と、地区住民、そして行政が一体となって取り組んでいくことが重要」と語っていました。また、救急救命士や三好病院を応援する会の会長ら5人が意見交換するパネル討論も行われました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

しいたけおいしいよ

佐野地区特産のしいたけを活かした地域活性化を目指す、第15回佐野しいたけまつりが12月14日に佐野小学校で開催され、県内外から家族連れら約1,500人が訪れました。

地元で採れた約100キロのしいたけが炭火で焼かれ、来場者に無料で振る舞われました。また、しいたけの粉末をうどんに練りこんだ「しいたけうどん」の即売や、ホダ木に菌を埋め込む植菌体験があり、長い行列ができるなど会場は終始賑わっていました。



高齢者の事故を減らそう



全国的に高齢者が加害者または被害者となる交通事故が増加傾向にあるなかで、高齢者交通事故防止や交通マナー向上を目的に、11月28日に徳島市で高齢者自転車安全運転競技大会が行われました。

13チームが参加し、各チーム5名が自転車で走行する実技テストと、交通規則や道路標識などの問題を5名全員で解答する学科テストで得点を競いました。その結果、練習の成果を発揮した三好市老人クラブ連合会チームが見事優勝しました。

妖怪もメタボが気になります



12月6日、三好市健康講演会が池田総合体育館で開催されました。最初に山城婦人会による演劇「山城妖怪村 お種狸のメタボリックシンドローム」が上演され、おもしろおかしくメタボリックシンドロームについて理解してもらいました。

その後、香川県立中央病院の青江先生による講演「禁煙の話から肺移植最新外科治療まで」が行われ、たばこの歴史から、たばこは肺以外へも影響することなど様々な話をいただきました。

奥祖谷句碑が建立されました



このたび、いやしの温泉郷の敷地内にひまわり俳句会（高井去私会長・徳島市）の奥祖谷句碑が建立され、その除幕式が11月9日に開かれました。句碑には「奥祖谷の湯宿に着くに秋の虹」と記されています。

これは、全国に約80ほどあるひまわり俳句会のうちの山彦支部（主に池田地区）5周年、やまなみ支部（主に井川、祖谷地区）3周年を記念したもので、この場所で年に一度、市内のメンバー約55人が集まって句会をしているそうです。

不思議な実験楽しいな



青少年のための科学の祭典が12月21日に池田総合体育館で開催されました。たくさん家族連れなどが参加し、地域の先生や技術者などから実験や工作を直接指導してもらい、自分の手、目、耳など五感をフルに活用して科学のおもしろさ、不思議さを体験しました。

15のコーナーがあり、液体窒素を使った実験、クリップでモーターを作ったり、紙の輪ヒコキ飛ばしなど、様々な体験をするなかで自由な発想力と知的好奇心を高めました。

心温まる防災ずきん



12月8日、井川町内のボランティアグループ「輪乃会」より、老人ホーム敬寿荘へ入所しているお年寄り全員に、災害時に備えて防災ずきんのプレゼントがありました。12月10日に行われた敬寿荘の火災避難訓練に使用できるようにと、ボランティアの皆さんが作ってくれました。

会員の方々手作りの心温まるずきんをいただき、みんな昔を懐かしく思い出しながら、さっそくかぶっていました。避難訓練当日にはありがたい使わせていただきました。

落合の伝統を守ろう



落合小学校の児童が落合伝統的建造物群保存地区で、12月5日に茅葺民家の修理現場を見学しました。小さな頭にヘルメットをかぶり、建築士さんの説明を熱心に聞き、疑問は積極的に質問していました。

祖谷地方の農家住宅の本当の姿を勉強し、伝統的建造物群保存地区の理解と市内外への発信をしていただくものと期待をしています。また、1月から始まる茅葺屋根の葺替え作業も、ぜひ参加したいと意欲を燃やしています。